



a 0 7 0 1 0 0 0 0 a

平成 2 6 年 保 育 士 試 験 問 題

保 育 原 理 (再 試 験)

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。
鉛筆・シャープペンシル以外での記入は、0点になる場合があります。

(良い例) … ● (濃くマークすること。はみだしは厳禁)

(悪い例) … ○ ⊗ ⊘ ⊚ ⊛ ⊙ ⊝

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、諸外国における子どもや保育の思想についての記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A マクミラン姉妹 (McMillan, R.& M.) は、学童の診療所を設立した経験をもとに、野外保育学校を設立した。
- B ピーボディ (Peabody, E.) は、1860年にアメリカで最初の「英語を話す幼稚園」を開設し、幼稚園の普及運動に取り組んだ。
- C ルソー (Rousseau, J.-J.) は、『人間の教育』において、「自然に従え」を教育の根本原理とする自然主義の教育を主張した。
- D デューイ (Dewey, J.) は、子どもの経験活動を重視し、遊びと仕事の行われる環境を整備することを幼稚園の任務と主張した。また1896年に実験学校を設立した。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問2 次の文は、モンテッソーリ (Montessori, M.) に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A ローマ大学医学部において、イタリアで初めて女性で医学博士号を取得した。
- B 1907年「子どもの家」を創設し、『クマのプーさん』『プー横丁にたった家』などの童話を著した。
- C 教育力のある指導者を養成するために「幼児教育指導者講習科」を設け、そこに6歳以下の子どもたちのための「遊戯および作業教育所」を付設した。
- D 子どもは自らを成長・発達させる力をもって生まれてくる、との信念の基、自著『学校と社会』の中で、大人は子どもの自由を保障し自発的な活動を援助する存在に徹しなければならないと主張した。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問3 次の文は、赤沢鍾美に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 1890年、私立新潟静修学校を創設し、その別室で、生徒に連れてこられる幼児を託児することとした。これが、日本で初の託児所といわれる施設である。
- B 1895年にフレーベルの『母の歌と愛撫の歌』を翻訳出版した。
- C 1908年、それまでの託児事業を「守孤扶独幼稚児保護会」と名付けたが、これは今日の公的な保育事業へ発展する端緒であった。
- D 貧民のために開設した善隣幼稚園は、後に友愛幼稚園に引き継がれ、子どもの権利擁護を掲げた保育のモデルのひとつとなった。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問4 次の文は、日本における保育の歴史的事項についての記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 倉橋惣三は、日本で最初の体系的カリキュラムである『系統的保育案の実際』を1935年に出版した。
- B 「家なき幼稚園」は、橋詰良一によって1922年大阪市郊外に開設された。この「家なき幼稚園」は、大自然の中で子ども達を自由に遊ばせることを重視した。
- C 倉橋惣三らの提唱する児童中心主義の保育を批判し、社会中心主義の保育を主張して、1909年に『幼児教育法』を出版したのは、関信三である。
- D 1904年に東基吉によって著された『幼稚園保育法真諦』は、幼児の自己充実・充実指導を基礎としながら、幼児の興味に即した主題をもって生活を誘導する保育の在り方を提示した。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問5 次の文のうち、「保育所保育指針」第3章「保育の内容」の(3)「3歳未満児の保育に関わる配慮事項」の一部として、適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 特に感染症にかかりやすい時期であるので、体の状態、機嫌、食欲などを医師や看護師に伝え、その判断の下に保育を行うこと。
- 2 食事、排泄、睡眠、衣類の着脱、身の回りを清潔にすることなど、生活に必要な基本的な習慣については、年齢に応じ、子どもが自分でできるようにすること。
- 3 探索活動が十分できるように、事故防止に努めながら活動しやすい環境を整え、全身を使う遊びなど様々な遊びを取り入れること。
- 4 子どもの自我の育ちを見守り、その気持ちを受け止めるとともに、保育士等が仲立ちとなって、繰り返しルールを伝える。
- 5 情緒の安定を図りながら、子ども同士仲良く遊ぶように促していくこと。

問6 次の文のうち、「保育所保育指針」第3章「保育の内容」の(4)「3歳以上児の保育に関わる配慮事項」の一部として、適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 体の諸機能の発達には、戸外で体を動かして遊ぶことも必要であるが、個々の子どもの興味や関心に合わせて遊ぶようにすること。
- 2 けんかなど葛藤の際に、決まりについて理解し、集団での生活態度を身につけることができるようにすること。
- 3 自分の気持ちや経験を自分なりの言葉で表現することが大切であるから、保育士は手出しせずに子ども同士で解決できるようにすること。
- 4 自然との触れ合いにより、子どもの豊かな感性や認識力、思考力及び表現力が培われることを踏まえ、自然との関わりを深めることができるよう工夫すること。
- 5 保育所の保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに留意し、小学校の生活で必要な行動を生活の中に取り入れるようにすること。

問7 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

4歳児クラスの事例である。園庭で大縄を回しているところをくぐり抜ける遊びをしている。くぐり抜ける流れがスムーズに続いてきたが、Sちゃんのところで途切れる。Sちゃんがタイミングをつかめず躊躇していると、T君が駆け寄ってSちゃんの手を引いて一緒に大縄をくぐりぬけることができ、みんなで喜んだ。一巡して次にSちゃんの番が来たとき、また、流れが止まり、Sちゃんは縄に入るタイミングをとっている。すると、T君がまた出てきてSちゃんの手を引こうとするが、Sちゃんはその手を振り払う。すると、T君はその場にうずくまり半泣きになる。

【設問】

次のうち、「保育所保育指針」第2章「子どもの発達」の(6)「おおむね4歳」(7)「おおむね5歳」の姿、第3章「保育の内容」の2「保育の実施上の配慮事項」に基づいた保育士の対応として、正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「T君、Sちゃんがやりたいって言ってるんだから、やらせてあげて」
- B 「Sちゃんは自分でやりたいんだって。T君はSちゃんの前に走って見本を見せてくれないかな」
- C 「T君、そんなところにうずくまっていたら、みんな遊べないよ」
- D 「Sちゃんは何か言いたいんじゃないかな。T君、聞いてみる？」
- E 「Sちゃん、せっかくT君が手伝ってあげるって言ってるんだから、一緒に飛んでもらおうよ」

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	○	×
2	○	×	○	○	×
3	○	×	○	×	○
4	×	○	×	○	×
5	×	×	○	×	○

問8～問10 次の保育所での【事例】を読んで、問8～問10に答えなさい。

【事例】

以下は、8月のある3歳児クラスの指導計画の一部である。

<子どもたちの姿>

- ・ 身体を使った遊びを楽しんでいる。
- ・ 手洗い場では服までぬらして遊んでいる子どもがいる。
- ・ 友達の遊びに関心を持ち、よく見ている、模倣をする。
- ・ 自分の思いを通そうとして、トラブルがみられる。
- ・ 身の回りのことを自分でしようとする子どもが増えているが、できなくて「やって」と伝えに来る子どももいる。

<ねらい>

- ・ 一人一人のイメージを持って、夏の遊びを十分に楽しむ。
- ・ 自分のやりたいことを楽しみ、行動することの充実感を味わう。
- ・ 自分の思ったことを言葉で表現したり、友達の気持ちを理解しようとする。
- ・ 汚れた衣服の着替えなど、自分でできることは自分でしようとする。

<内容>

- ・ 安心できる環境で、聞く、見る、触れる、嗅ぐ、味わうなどの感覚の働きを豊かにする。
- ・ 好きな玩具や遊具に興味を持って関わり、様々な遊びを楽しむ。
- ・ いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。
- ・ 戸外での遊びに親しみ、楽しんで取り組む。
- ・ 保育者や友達に関心を持ち、模倣して遊んだり、親しみを持って自ら関わろうとする。

問8 ある日の午前中、3歳児の4人が、砂場で山を作り、バケツで水を汲んできて、遊んでいる。指導計画を踏まえ、この場面における保育士の対応として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A クラス全員を砂場に呼び集め、ダイナミックな砂場遊びを展開する。
- B 「素敵ね。何を作っているの?」と、子ども達のイメージを聞く。
- C 保育士も一緒に水を運んだり、大きなシャベルを使って子どもたちと一緒に砂山を高くする。
- D 関心を示して寄ってきた他の子どもたちに、「川づくりを手伝ってくれる?」と、誘いかける。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | × | ○ | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問9 指導計画を踏まえて、問8の場面で一人一人の子どもへの保育士の対応として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 水をこぼしながら運んできたHちゃんに、服が濡れていることを注意し、着替えるように言う。
- B 砂遊びには加わずにじっと見ているGちゃんに、「汚れるのが嫌なの?お部屋で絵本を読んでいたら」と話す。
- C 友達の模倣をしているYちゃんに、自分で考えて遊ぶようにと促す。
- D 絵本で見たものを作ろうとしてうまくいかずに、焦れているKちゃんに、「どういふのを作りたいの?」と言葉をかけて、作りたいもののイメージを共有し励ます。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | × | ○ | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問10 Mちゃんがカップでプリンを作っていると、J君もそれに興味を示して寄ってきた。

J君はMちゃんの使っていたシャベルとカップを、黙ってとり、自分も同じように作ろうとする。それに気づいたMちゃんが「ダメ」と、シャベルとカップをとり返した。J君は泣きながら、それをとろうとする。

この場面における指導計画に沿った保育士の対応として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A J君に、「Mちゃんが使っていたものを、とってはいけません。砂場から出ていきなさい」と注意する。
- B Mちゃんに、「シャベルをひとり占めしてはいけません」と注意する。
- C 「Mちゃんの作ったプリンが、おいしそうだったから、J君も作ってみたかったのね」とJ君の気持ちをMちゃんに伝える。
- D J君に、「シャベルが使いたかったのね。Mちゃんに、『カシテ』って、言ってみたら？」と話す。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	×	○	○
5	×	×	○	×

問 11 次の文のうち、「保育所保育指針」第3章「保育の内容」の(2)「乳児保育に関わる配慮事項」の一部として、不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 乳児は疾病への抵抗力が弱く、心身の機能の未熟さに伴う疾病の発生が多いことから、一人一人の発育及び発達状態や健康状態については、3ヶ月に1回の健康診断を行うこと。
- 2 一人一人の子どもの生育歴の違いに留意しつつ、欲求を適切に満たし、特定の保育士が応答的に関わるように努めること。
- 3 乳児保育に関わる職員間の連携や嘱託医との連携を図り、第5章（健康及び安全）に示された事項を踏まえ、適切に対応すること。栄養士及び看護師等が配置されている場合は、その専門性を生かした対応を図ること。
- 4 保護者との信頼関係を築きながら保育を進めるとともに、保護者からの相談に応じ、保護者への支援に努めていくこと。
- 5 担当の保育士が替わる場合には、子どものそれまでの経験や発達過程に留意し、職員間で協力して対応すること。

問 12 次の文は、「保育所保育指針」第3章「保育の内容」のウ「環境」の一部である。
(A) ～ (E) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 身近な (A) に親しみ、(B) と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。
- ・ 身近な (A) に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを (C) に取り入れようとする。
- ・ 身近な (D) を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する (E) を豊かにする。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	自然	事物	生活	環境	感覚
2	自然	環境	あそび	事物	探究心
3	環境	自然	生活	事物	感覚
4	環境	事物	あそび	自然	好奇心
5	事物	自然	生活	環境	探究心

問 13 次の文のうち、「保育所保育指針」第3章「保育の内容」のイ「情緒の安定」の一部として、適切な記述の組み合わせを一つ選びなさい。

- A 一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるようにする。
- B 一人一人の子どもが、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。
- C 一人一人の子どもの生理的欲求が、十分に満たされるようにする。
- D 一人一人の子どもの心身の疲れが癒されるようにする。
- E 一人一人の子どもの健康増進が、積極的に図られるようにする。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B D
- 4 C E
- 5 D E

問 14 次の文は、「保育所保育指針」に基づく保育所の役割についての記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保育所は、保育に欠ける子どもの保育を行う児童福祉施設であると同時に、子どもの健全な心身の発達を図ることを目的とする学校でもある。
- B 保育所は、保育に関する専門性を有する職員が、家庭との緊密な連携の下に、保育を行う。
- C 保育所は、子どもの状況や発達過程を踏まえ、保育所における環境を通して、養護及び教育を一体的に行う。
- D 保育所は、その特性を活かし、単独で、入所する子どもの保護者に対する支援を行う役割を担うものである。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問 15 次の文は、児童の権利についての記述である。(A) ~ (D) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

1989 年、「児童の権利に関する条約」が (A) で採択され、日本は (B) 年に批准した。

「保育所保育指針」の第 1 章総則には、保育所は、「入所する子どもの最善の利益を考慮し、その (C) を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場でなければならない」と記されているが、「(D)」が謳われた背景には、「児童の権利に関する条約」がある。これらの経緯から、子どもは「保護の対象」としてだけでなく、「権利の主体」として尊重することが基本であることが分かる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	ユネスコ	同じ	教育	ふさわしい生活
2	ユニセフ	同じ	教育	子どもの最善の利益
3	国際連合	1990	福祉	子どもの最善の利益
4	ユニセフ	1994	自由	ふさわしい生活
5	国際連合	1994	福祉	子どもの最善の利益

問 16 次の文は、「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」(昭和 23 年厚生省令第 63 号) 第 36 条の一部である。(A) ~ (E) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

保育所の (A) は、(B) に入所している乳幼児の保護者と密接な連絡をとり、(C) 等につき、その (D) の理解及び (E) を得るよう努めなければならない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	職員	頻繁	保育の内容	保護者	合意
2	長	頻繁	保育所保育	子ども	協力
3	職員	常	保育所保育	子ども	合意
4	長	常	保育の内容	保護者	協力
5	職員	常	保育所保育	内容	協力

問 17 次の文は、「保育所保育指針」に沿った保育の方法についての記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保育の方法として、子どもの状況や生活の実態を把握するとともに、生きる主体である子どもの思いや願いを受け止めること。
- B 保育所の長時間にわたる生活の中で、一人一人の生活リズムを大切にするとともに、次第に乳幼児期にふさわしい生活リズムとなるように努め、健康、安全で情緒の安定した生活を送れるようにすること。
- C 子どもの発達について理解し、一人一人の子どもの発達過程と個人差に配慮して保育すること。
- D 子どもの諸能力は生活や遊びを通して別々に発達していくのではなく相互に関連し合い、総合的に発達していくことを踏まえること。
- E 子どもの成長を保護者と共に喜び合うためには、保護者の子育ての問題を指摘し、指導すること。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	○	×
2	○	○	×	○	×
3	×	○	○	○	×
4	×	○	○	×	○
5	×	×	○	×	×

問 18 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

保育所の5歳児クラスで、動物園に遠足に行くことを計画した。クラス懇談会でこれについて説明した。

【設問】

保育所が保護者に説明する内容として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 社会生活の体験や、動物とのふれあいは、5歳児の発達にとって必要な体験である。
- B 遠足での活動内容を、5歳児クラスのみみんなで一緒に考えたことで、子ども達の活動への意欲や期待がふくらんでいる。
- C みんなで元気に遠足に行くために、子どもたち自身で早寝・早起きをするというきまりを作ったので、保護者にも協力してほしい。
- D グループのメンバーを決める時にケンカがあり大変だったので、遠足では絶対にケンカをしないよう、保護者からも、厳しく注意してほしい。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問 19 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

ある地域子育て支援センターで、3歳未満の子どもと親の交流の場として、ミニ運動会を開くことにした。

【設問】

センターのスタッフが行う内容として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A センターの利用者に、どのような運動会をしたいか、意見を聴く。
- B スタッフと一緒に計画や準備に取り組む希望者を募る。
- C 地域の保育所から、用具を借りる。
- D 小学生が参加すると、混乱するので、禁止する。
- E 地域の家庭的保育事業などにも、参加を呼びかける。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	○
2	○	×	○	○	○
3	○	×	○	×	○
4	×	○	○	○	○
5	×	○	×	×	×

問 20 次の保育所での【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

保育所の2歳児クラスでFちゃん(2歳)がRちゃん(2歳)に頬をかみつかれた。その日にお迎えに来たFちゃんの母親に、Fちゃんが友達にかみつかれたことを保育士が説明して謝ると、母親は初めは驚いた顔をしていたが、保育士の話に納得した様子で帰った。

ところが翌朝、Fちゃんの母親は困ったように、女の子の顔に傷をつけたと、父親がとても怒っていることを話してきた。

【設問】

保育所が、この段階で行う対応として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保育所内の会議を開き、保育の改善策や対応を考える。
- B かみついたRちゃんの母親に状況を説明し、Fちゃんの父親にすぐに謝罪するよう伝える。
- C Fちゃんの父親の職場に電話をして、かみついても発達の一過程であると、指導する。
- D Fちゃんの母親に改めて状況を説明して謝罪し、父親とも直接、話をしたいことを伝える。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	○	×	×	○
4	○	×	×	×
5	×	×	○	×